

第3回 代表者研修会報告

日時：令和8年2月17日（火）14：00～

会場：静岡県男女共同参画センター「あざれあ」

司会：秋定副会長

1 あいさつ

- | | |
|------------------------|------------|
| (1) 静岡県養護教諭研究会 | 中島由紀江 会長 |
| (2) 静岡県養護教諭研究会顧問校長 | 金野 教之 校長 |
| (3) 静岡県教育委員会健康体育課健康食育班 | 伊郷さおり 教育主査 |
| (4) 静岡県学校保健会（資料配布済み） | 山崎 優志 事務局長 |

<学校保健会事業報告>

今年度の学校保健会も、皆様のご協力をたくさんいただきながら進めていくことができた。（※以下の番号は、令和7年度学校保健会事業経過報告の項目番号）

1 第64回静岡県学校保健研究大会

- ・令和7年11月13日（木）牧之原市相良総合センター い〜ら 参加人数：290名
- ・各地区の課題に沿った実践発表だった。

2 (1) 第47回中学校・高等学校生徒保健委員活動発表会

- ・オンライン参加者43名。
- ・3校の高校生及び1校の中学生が発表。中高校生ならではの初々しさ、若々しさ、エネルギーを感じ、自ら課題を見つけて自己解決していく姿に感動した。実践報告からどの学校も創意工夫を凝らし、素敵な活動、生徒主体の良い活動が行われていると感じた。

(2) 第54回学校保健新聞コンクール

- ・応募校数：26校 → 昨年度より微増。

(3) 第76回関東甲信越静学校保健大会

- ・令和7年8月7日（木）千葉県開催

(4) 令和7年度全国学校保健・安全研究大会

- ・令和7年11月20日（木）21日（金）横浜市開催

7 次年度の予定

(2) 第77回関東甲信越静学校保健大会

- ・令和8年8月6日（木）静岡県男女共同参画センター「あざれあ」開催予定
→動員検討中
→令和8年度静岡県学校保健大会は中止 令和9年度は駿東地区開催

(3) 全国学校保健研究大会

- ・令和8年11月19日（木）20日（金）愛知県名古屋市
→駿河総合高校、静岡医師会 学校・園医部会が発表予定。

2 静岡県教育委員会所管事項

(資料 配付済み)

静岡県教育委員会健康体育課健康食育班

伊郷さおり 教育主査

- ・今期2度目のインフルエンザ警報レベル。記録が残る2002年以降、一旦収束した後に再度警報レベルとなるのは初めてのこと。今シーズンの最高値を更新した。
- ・令和8年1月30日 健康体育課主催 市町教育委員会の学校保健担当者との連絡協議会をオンラインで開催。

〈内容〉健康診断未受診者への対応
学校環境衛生検査について
市町ごと情報交換 等

<所管事項> (※以下の番号・ページは、所管事項資料の項目番号)

1 保健管理

(1) 感染症への対応 (P1～2)

① 新型コロナウイルス感染症

ウ 出席停止 前回までの所管事項に記載していたものが最新の通知ではなかったため修正。内容は変更なし。

② インフルエンザ

イ 出席停止 前回までの所管事項に記載していたものが最新の通知ではなかったため修正。内容は変更なし。

(2) 疾病管理(現代的健康課題への対応)

① 児童生徒等の定期健康診断の実施(P3～5)

- ・心臓疾患についての学校生活管理指導表は、静岡県版を使用し、転出・進学の際は切れ目のない管理を行う。(P4)
- ・心疾患、アレルギー等の管理指導表を転出、進学等で他校へ送付する際は、保護者の同意を得る。(P4、P5)
- ・「脊柱側弯症検診に係るお願い」は静岡県医師会から学校長、養護教諭及び、学校医宛になっているため、学校医との健康診断の打合せ等で活用する。この様式は医師会から医師会会員に周知されておらず、学校から学校医へ渡すことを想定している。(P4)
- ・健康診断を受けることができなかった児童生徒等への健康診断対応について、適正かつ効果的な健康診断実施に取り組むよう、文部科学省から通知が出ているため、予備日の設定や対応等をお願いしたい。(P5)

2 保健教育

(1) 薬物乱用防止教室

③ 令和8年度薬学講座基本方針 (P7)

- ・県下全ての小中学校及び高等学校で実施することを目標とする。
- ・対象学年は、小学校5年生又は6年生。中学校及び高等学校においては全学年。
- ・内容は全学年同じ内容でも、学年毎でも、各校の実情に応じて実施してほしい。

(2) がん教育

- ⑤ 学校における外部講師を活用したがん教育の推進について (P7) チラシあり
- ・「肝臓専門医によるウイルス性肝炎から肝臓がんに関する講演の講師派遣」
この事業について、浜松医科大学より市町教育委員会宛てにメールにて通知されている。(令和7年1月28日)
対象は、県内の中学生、高校生、特別支援学校高等部の生徒。

3 その他 (P8)

文部科学省が行う学校宛ての定期的な調査の見直しについて

「薬物乱用防止教室開催状況等調査」「がん教育実施状況調査」「学校保健委員会設置状況調査」について、文部科学省から依頼あり。

4 養護教諭・保健主事の資質向上(令和8年度の予定) (P9)

- (1)～(4)例年通り実施予定。
- (5) 静岡県養護教員講習会
日時：令和8年8月24日(月)午後 リアルタイムオンライン開催
内容：所管事項、伝達講習、講演「学校保健の動向(予定)」(文部科学省調査官)
- (6)～(14)現段階の情報。

参考紹介：フォン・ヴィレブランド病に関する啓発資料について (P10)

★ 所管事項に記載されていない内容

- ・ 県立高校進学に伴う健康診断票の電子送付について
令和8年度は試行で、いくつかの市町教育委員会から、指定された県立高校に進学する場合について、健康診断票の電子送付を行う。
令和9年度は全市町教育委員会が対象となる予定。

3 議事

(資料 配付済み)

(1) 令和7年度静岡県養護教諭研究会冬季研修会の反省

宮川幹事

※1日研修を受けて本当に良かったと思える内容だったという感想が多かった。

【講演①】「知って、防ごう、学校・園での事故 子どもたちの元気な笑顔を守るために」

講師：日本スポーツ振興センター 別所敬之様

- ・ 日本スポーツ振興センターの動画、パンフレット等、危機管理研修や保健指導に使用できる教材をたくさん紹介していただき、事故の職員研修や安全指導に活かしていきたい。

【講演②】「重大事故、そのとき先生方は動けますか？」

講師：国際救急法研究所 宇田川規夫様

- ・ 参考になった。
- ・ 宇田川先生の熱心な講義と演習に時間を忘れるほど引き込まれた。
- ・ 勤務する学校全体の危機管理体制のあり方を考える機会になった。

【実習演習】

- ・様々なグッズを紹介していただき、根拠に基づいた、現場に沿った話だった。
- ・席が後ろで、見えにくかった。

(2) 冬季研修会決算報告

小池会計

収入の部 参加者 140 名×参加費 1000 円 計 140,000 円
研究会会費より補助として 計 301,967 円
支出の部 会場費、旅費、講師料、諸費については、資料の通り。

以上のことから、収入総額 441,967 円、支出総額 441,967 円、差し引き 0 円。

(3) 令和 7 年度静岡県養護教諭研究会活動反省

大石幹事

1 令和 6 年度・7 年度テーマ「子供の未来のために ～伴走者としての養護教諭～」

- ・専門性と特質を生かした資質の向上のために研修を深め実践できた。(99.7%)

2 地区代表者研修会について

- ・内容を把握することができた。(99.7%)

3 調査研究について

- ・実態調査が参考になった。(98.7%)

- ・改善したい理由

「自校の執務で活用する機会が持てない」「ID やパスワードの入力が大変」
負担軽減のために「数年ごとの調査や内容の簡略化」を望む意見があった。

- ・意見要望

「実態調査の長年の積み重ねは、研究会の財産である」「分析がわかりやすい」
「管理職や職員への具体的な提案の根拠として有効である」など、感謝や継続を望む意見が多数あった。

調査の有効性を認める一方で、「答える側まとめる側両方の多忙化解消のために厳選した項目に減らす」など負担軽減、スリム化を求める意見や単にデータを集めるだけでなく、「調査結果をどう活用していくのがよいのか知りたい」という要望もあった。また、今年度から HP に調査結果を全て公表する形に変更したことにより、この調査が研究会のためだけでなく、会員一人一人のためでもあることを認識していただけた。設問内容も鋭意精選し、バージョンアップしている。今後も理解と協力をしてもらえるものにしていきたい。

4 会誌「たちばな 68 号」について

- ・編集内容が良い。(98.9%)

- ・意見要望

「写真や図も多く、カラーページもありわかりやすかった」「参考にしたい内容が

たくさんあった」など精選された内容が日々の執務の意欲向上につながるとの意見があった。また、「たちばなが続いていることの意味や重みを感じる。」「スリム化と残すものとのバランスをとりながら継続していただけたらと思う」など、どのような会誌が持続可能であるか検討を求める意見もあった。

5 実践事例集 19「学校組織で取り組む『危機管理』Part II」について

- ・編集内容が良い。(99.7%)
- ・参考になったこと

第1章 「養護教諭一人だけでは子供を守ることはできません」「救急体制図は実際に機能するものになっている？」という言葉から、役割分担、連携がとれる体制づくりができるよう、管理職とともに校内体制を見直していきたいという意見が多数あった。

第2章 「教職員の一連の流れが時系列で表になり整理されているので、事故の様子が想像しやすく、自分の学校だったら・・・と自分事としてとらえることができた。」

今後の対応に向けての資料も示され、事例を知るだけでなく活かすためのポイントが示されていて、活用度が高いとの意見があった。

第3章 HP より資料をダウンロードして「すぐに使える」がとても魅力的であるとの意見が多数あった。

6 ホームページについて

- ・アクセスしたことがある。(94.6%)
- ・アクセスしなかった理由
「時間的余裕がない」「学校のPCから開けない」「存在を把握していない」など。
- ・意見要望
「リニューアルしてみやすくなった」「必要な情報が探しやすい」「ダウンロード資料の充実や掲示板のような意見交換の場を求める」との意見もあった。

7 会誌「きんもくせい」について

- ・発行されるごとに読んだ。(98.5%)
- ・読まなかった理由
「読む時間が確保できなかった」という多忙さが主な理由だった。
- ・意見要望
「巻頭言を楽しみにしている」「顧問校長先生の言葉に感銘を受けた。」「養護教諭として認められ、エールをいただいている感じがする」という声が多数あった。一方、発行回数の見直しなどの意見もあった。

8 その他について

(1) 夏季研修会について

- ・対面での良さを実感する一方で旅費の確保が難しい地区への配慮としてオンライン配信の検討を求める意見があった。

(2) 役員選出の在り方や役員の負担軽減について

- ・「役員選出するのが厳しい」「特定の人に負担が集中している」という懸念があり、役員の仕事内容や人数の見直しを求める意見や研究会の活動内容、今後を見通し

た事業の改善を検討していく必要性についての意見が多くあった。

アンケートの結果から、どの活動についても高い評価を受けていることがわかった。会員の声を大切に、今後も「資質の向上」と「持続可能な組織運営」の両立に向けて取り組んでいく必要があると感じた。

(3) 各委員会から

① 「たちばな 68 号」編集委員会より

宮川副委員長

- ・「たちばな」は歴史ある会誌であり、その思いを大切にしていきたい。
- ・今後も内容の精選をし、会員に充実感を持ってもらえるよう内容を検討していく。

【依頼事項】

※各種研究論文受賞者の調査（研究のあしあとに掲載）

後日、事務局よりメールで依頼する。

各地区理事は、3月19日（木）までに副委員長（宮川）までメールまたはFAXで報告する。該当者なしの場合も報告する。

名前を挙げてもらった方、全員に原稿依頼をすることはできないが、69号で原稿依頼があるかもしれないことも伝えておく。

② 「実践事例集 19」編集委員会より

秋澤委員長

- ・データ送受信やセキュリティ面で情報提供していただく中、御負担をかけたが、発行に際し、多くの会員の協力を得て、好評をいただき、ほぼ完売するに至った。
- ・今後、セキュリティ面の対応が難しくなることが想定されるが、会員に負担が少なくなるよう配慮しながら、より良い資料作成に努めていきたい。

【第3章関連資料について】

- ・当初は1月末掲載予定だったが、確認作業に時間を要したため、2月末まで延期となった。冬季研での皆様からの要望も反映し、資料を作成した。
- ・掲載日は、業者との調整後、正式に事務局を通して各理事へ連絡し、会員へ伝達してもらいたい。
- ・現在掲載を予定している教材は、文科省のものや新しい情報を反映して作成している。ただし、校内救急体制など改定も続いており、今後使用する際は、各学校、個人の責任で最新情報の確認をしてほしい。
- ・学校の実情により、児童生徒への対応マニュアルは違うため、編集可能なデータとして活用してほしい。また、スライド構成や情報量は監修者の意図に基づき作成されている。その趣旨をホームページに掲載するのでそちらも活用してほしい。

③ 調査研究委員会より

竹嶋委員長

令和7年度末実態調査の実施について

- ・年5回の委員会を行い、令和6年度実態調査結果の冊子の作成と本年度の実態調査についての検討をした。
- ・外部協力者により、安定した校正・修正作業ができ、印刷製本の業者委託も委員の負担軽減につながっている。

また、Zoom の活用により委員の移動の負担軽減や旅費の削減につながった。

- ・本年度は、すべての調査結果をホームページに掲載することができた。
- ・基本調査の記述の質問に多くの実践と御意見をいただき、委員で試行錯誤しながらまとめた。今年度は結果の報告だけとなったが、いただいたアイデアは、活用しやすい形で還元していけるよう考えたい。
- ・11月から1月にかけて県教委、静岡西教育事務所、静岡市浜松市教育委員会、県校長会所属校に訪問し、冊子の結果を報告した。

<今年度の実態調査について>

【昨年度からの変更点】

(Ⅰ 学校基本調査)

- ・問2 (4) : 「特別教室にエアコンは設置されていますか？」
→ 扇風機やスポットクーラーは暑さ対策として不十分なため、エアコンの必要性を明確にし、質問内容を変更。
- ・問4 (7) : 「保健室登校以外の別室・適応教室に関する項目」を変更。
→ 養護教諭が関わっている現状がある。また、活動反省でも会員の関心が高かったため、質問内容を具体的に設定した。
- ・問5 (2) : 「心の健康に問題を抱える児童生徒へ支援した事例について」の選択肢を変更。
→ インターネット等のトラブルに関することを追加。
→ 自傷行為について、" 児童生徒が自分自身を傷つける行為 " と定義を追加
- ・問7 (3) ③ : 「熱中症対応研修」を追加
- ・問8 : 熱中症についての内容を「発生」を主とした質問に変更。

(Ⅱ 養護教諭基本調査)

- ・問1 (3) 1 正規 : 本年度は 62 歳までの方。
- ・問4 : 「業務の効率化を進めながらも養護教諭として変わらず大事にしていきたいこと」に変更。

【調査実施の注意事項】

- ・2月19日(木)に事務局から調査データ送付。
- ・マクロ「あり」「なし」2種類のデータを用意し、各地区の状況に応じて選択。
- ・基本調査Ⅱは、3月1日現在の勤務者が回答対象。
- ・19日に事務局から資料を送付後、地区理事が提出期日、提出先を記入し、会員へ送付する。
- ・地区の集計の方法は、パワーポイント資料を参考にする。

④ ホームページ編集委員会より

秋定委員長

- ・今年度は、計画通り5回の偏執委員会を実施した。第5回目の委員会では、活動内容を確認し、冬季研修会の報告書を作成した。
- ・保健室訪問のページでは、掲示物や保健室紹介の資料を12校から提供していただいた。
- ・今後は、第3回代表者研修会の報告や会員限定ページに実践事例集19の教材の掲載

予定。

- ・ホームページのログインID・パスワードは、6月1日を基準日として変更する。
- ・今後は、会員からの要望を参考にし、会員限定ページを含めて掲載内容や掲載年など検討していきたい。また、役員会でも検討を重ねながら、会員相互の情報の共有化、職務の効率化に役立つ内容のホームページを目指して活動を進めていく。

⑤ 組織検討委員会より（資料なし）

杉山委員長

- ・12月15日に組織検討委員会を実施し、政令市の政令市、浜松市の委員とともに協議した。
- ・研究会の組織および政令市の組織状況を確認した。
- ・浜松市は、これまで全て「1年任期」であった委員会の任期を、令和8年度からは他地区と同様に「2年任期」の委員会は、「2年任期」へと変更することが決定した。
- ・今後も政令市の調整や研究会組織の経緯など、申し送り事項を共有するため、年1回は対面で集まり、議論を継続していき、情報共有をしていく。

⑥ 役員選出委員会より（別紙資料）

木内委員長

- ・幹事については、6名の選出を予定していたが、今期の運営状況から5名で支障がないことから、今期同様1名減として提案する。（会則第6条に、幹事若干名とあり人数の明記がないことを受けて）
※採決の結果、全会一致で承認となった。
- ・副会長、会長を担う40代後半の会員がどの地区にも少なく、役員選出が大変困難になっている。持続可能な団体となるよう課題を引き継いでいく。

4 連絡・報告事項

(1) 令和8年度会員名簿の作成について

関口書記

- ・作成は名簿Bの流れに沿って進めて欲しい。
- ・会員名簿Cについては、提出日・提出先を記入し、会員に配布する。

【依頼事項】

- ・令和8年度の地区名簿担当者へパスワードを含め確実に引き継ぐ。
- ・令和7年度の地区名簿担当者が作成した名簿は年度末に削除。
- ・令和8年度の地区名簿作成担当者は、3月19日～4月3日に研究会名簿担当にメール送信する。

【会員数】

- ・会員数の変更はない。

(2) 会報「きんもくせい」について

関口書記

- ・本日146号を発行した。
- ・来年度の地区紹介については、4月以降に原稿依頼をしていく。

(3) 令和8年度理事氏名の報告・理事依頼事項について

佐野事務局

- ・令和8年度の地区理事の報告を事務局へ3月19日までにメールで報告をお願いしたい。提出先の次期事務局については、後日理事へメール送信する。
- ・理事は受け取ったデータを令和8年度地区理事へ引き継ぎ、新地区理事が、次期事務局へメールする流れとなる。

- ・調査研究については2月19日にまとめて送付予定。名簿関係は、準備の状況で遅れる可能性がある
- ・依頼物の提出先が「今年度役員」か「次期役員」か、混乱しないように確認しながら会員へ連絡してほしい。

(4)各地区から

Q 研究会の会費の集金方法・振込方法について（浜松地区）

- ・研究会の会費をどのように集め、どのように振り込んでいるか。
- ・浜松地区は、5月に8ブロックで現金回収。浜松養護教諭研究会の口座へ各ブロックから振込、市の代表が研究会の口座へまとめて振込をしている。
- ・浜松市会費を徴収し、そこから振込手数料を負担している。

A 静岡市回答

- ・4月第1週の総会で全員から現金回収し、市の養護教諭研究会の口座に入金後、研究会へ振り込む。手数料は市の研究会で負担している。

A 田方地区回答

- ・振込手数料は、地区会員人数で割って負担している。端数は、担当者が数円負担することもある。
- ・要望：今後の振込手数料の扱いについて、研究会負担の検討を望む。
→研究会としては、今後も各地区負担でお願いしたい。

A 富士地区回答

- ・5月に現金で回収。市の研究会口座から県へ振込。振込手数料は、地区で負担している。

A 小笠地区回答

- ・総会で現金回収。地区の口座に入れ、そこから研究会へ振込。手数料は地区から支出。

(5)会計より

小池会計

- ・たちばな68号、事例集19の領収書を本日配付した。後ほど内容の確認をしてほしい。

(6)その他

- ・研修会報告「関東甲信越静学校保健研究大会（紙面報告）」 鈴木充世幹事
- ・研修会報告「全国学校保健安全研究大会（紙面報告）」 中島会長、秋澤副会長

(1)フレンズYOUGOについて

中島会長

- ・近年の学びの多様化を踏まえ、令和8年度末をもって、終了することとなった。令和8年度の内容・日程・会場は未定。案内が届き次第、地区理事を通じて会員へ周知する。

(2)令和8年度静岡県養護教諭研究会夏季研修会について

中島会長

- ・オンデマンド形式で実施する。配信期間は7月から8月の1か月程度（夏休み中に視聴できる形）を予定。
- ・講師は決定済みだが、詳細は令和8年度第1回代表者研修会にて報告する。